

いまみや

★2017年1月14(土)・15日(日)センター試験★

♥センター試験応援!!

センター試験を前にPTA3年実行委員が、手書きのメッセージを添え、応援グッズの袋詰め作業を行いました。生徒達には、1月11日の直前説明会で手渡されました。



今年のセンター試験は、140名の3年生が4大学に分かれて受験しました。各試験会場の入口や最寄りの駅では、寒い中朝早くから先生方が応援に立って下さいました。受験生たちは直接声をかけていただき、力を貰って会場に向かって行きました。

★百人一首大会★

12月20日に1年生の、21日に2年生の百人一首大会が自治会の主催で行われました。放送部員が和歌の詠みを担当し、チーム対抗で白熱した戦いが繰り広げられました。どんなことも全力で楽しむ今宮の生徒達(いまみやん)。

1年生は6組優勝 4組準優勝、2年生は5組優勝 6組準優勝で大会は幕を閉じました。



★★★ホストファミリー体験談★★★

今宮高校では、様々な国の留学生を受け入れています。本年度、2016年6月21日から27日まで、アメリカからの留学生のホストファミリーを引き受けたご家族のお父様から感想をいただきました。



お揃いのTシャツを着て 後方右端がアンジェリン

英語が心許ない我が家ですが、生まれて初めてのホストファミリーを体験しました。

来てくれたのは、留学生たちの中で一番日本語が上手なアンジェリン。英語はもちろん中国語も話せるので、私や妻の危なっかしい英語や中国語にも、優しく日本語で応えてくれました(笑)。

アンジェリンはスクーリング以外に京都や広島などの観光もあってハードスケジュールだったため、家族と一緒に出掛けることはできませんでしたが、朝夕の食事の時は楽しく話をすることができました。娘の妹たちもアンジェリンの動画を見てもらったり、中学校の英語の教科書について(厚切りジェイソンのように)「これおかし! Why?」と教えてもらって一緒に爆笑したりしていました。

私は畑を借りて野菜を育てているので、自宅で食卓を囲むときはできるだけ畑の野菜を使った料理を作って、彼女にも食べてもらいました。毎日質素な食事でしたが、アンジェリンのリクエストでお寿司やオムライス(日本にしかないそうです)を買って食べてもらったりもしました。

あつという間の1週間でしたが、私たちにってはかけがえのない思い出となりました。

アンジェリンにとっても、良い思い出になってくれたなら、初ホストファミリーとして少しはお役に立てたのではないかと思います。

◎今宮高校では留学生を引き受けてくださるホストファミリーを毎年募集しています

★★クラブ活動報告★★

能楽部が12月18日に行われた「第三回関西宝生流学生能楽連盟冬季大会」に参加しました。

会場は、檜造りの本舞台上に橋掛りを施した伝統ある大阪能楽会館で行われ、部員達は大学生に交じり堂々とした舞を披露しました。3年生は卒業仕舞を舞い、三年間の集大成を披露しました。学生の舞の後は、プロの先生方による番外仕舞もあり、とても充実した大会でした。



今宮・どこにあるやろ?

—第3回—
〈定時制高校名残の鐘〉

今宮高校の校内にある鐘は、定時制高校があった時の名残だそうです。定時制は1942年に夜間中学校として認可され、1948年の学制改変で、全日制・夜間併設の大阪府立今宮高等学校となり、1950年に夜間制課程から定時制課程と改称されました。その後定時制は1996年に募集を停止し、1998年3月に閉課程となったそうです。

編集後記

19期生の皆様、ご卒業おめでとうございます。この学校で学んだ経験は、きっとこれからの皆様の道を照らしてくれることと思います。新しい門出を心よりお祝い申し上げます。今年度の広報委員会に対し、教職員の皆様、保護者の皆様、そしていまみやんの皆様のご協力のおかげで無事一年を終えることができました。ありがとうございました。エネルギーに溢れるいまみやんの足取りを追いながら、楽しく活動させて頂いた一年でした。創立111周年、そして「いまみや100号」を迎える来年度も、どうぞよろしくお祈り致します。 広報委員一同

お知らせネット

- 軽音エレクトロ部
1月15日に曾根崎警察署にて行われた「NESSO 冬の高校生特集」に出演。
- 能楽部
1月28・29日に大東市で行われた「芸文祭」に出演(ダンス部も出演)
- ダンス部・書画部
2月12日に「阿倍野 DANCE FESTIVAL」に出演。今宮高校元PTA、後援会の皆様で結成されたよさこいチーム「福夢寿女」さんも出演。

詳しくは本校ホームページをご覧ください。

「入学式でお話した3つのこと」

校長 境田 優二

総合学科19期生の皆さん、卒業おめでとうございます。また、保護者の皆様におかれましては、これまでのご苦勞に敬意を表するとともに、お子さまの卒業を心よりお慶び申し上げます。

19期生の皆さん、覚えているでしょうか?皆さんの入学式の際に、3つのことをお話ししました。

- ① 10年後の自分をイメージすること。
- ② 好きで得意なことをみつけること。
- ③ ONとOFFを意識すること。

皆さんの入学式で『これら3つを入学した今は持っていないかもしれないけれど、今宮高校での3年間を終え卒業する時には、これらを持って巣立って欲しい。』と話しました。皆さんは将来、人生の分かれ道で迷い悩むことがあると思います。友達、保護者や恩師に相談することも大切ですが、最後は自分で決めて進まないといけません。そんなとき、これら3つのことを胸に、人生を歩んで欲しいと願います。

歩むと言っても自分のペースでいいと思います。人を羨む必要もありません。また自信が持てない自分を恥じることもありません。焦らず、自分の歩幅で、自分のペースで、ときには休み、そして勇気を持って一歩前に進んで下さい。最初うまくいかなくても、知らなくても構わない。進みつつ何度でも試みればいよいよ、知らなければ調べればよい。高校3年生の部活の最後の公式戦は一度だけですが、人生の公式戦は何度でも作ることができるのだから。

三年間、今宮高校を盛り上げてくれてありがとう。皆さんが積み増してくれた伝統は、在校生がきっと発展させてくれると思います。



「大樹に」

PTA会長 田中 佐祐美

総合学科19期生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

保護者の皆様におかれましては、お子様が立派に成長され今日のよき日を無事迎えられましたことを心よりお慶び申し上げます。また校長先生はじめ先生方や教職員の皆様、これまで生徒たちをきめ細やかに見守り、導いてくださりありがとうございます。保護者一同厚く御礼申し上げます。

ところで19期生の皆さんはどんぐりを植えたことはありますか?学校などでよく植える草花は、春に種をまくと10日ほどで芽を出し、みるみる成長して花を咲かせますが、木の実のどんぐりは少し違います。秋に地中に植えられたままじつと寒い冬を過ごし、そして半年以上経った忘れてのころにやっと芽を出しゆっくり成長するのです。

多感な青春の三年間で自由で活力溢れる総合学科で、ともに笑い、泣き、時にはぶつかりあって学んできた皆さんには、その過程で一人一人違ったどんぐりが心の底に密かに植えられてきたのです。今宮高校での学びの期間を終え、新たな一歩を踏み出そうとしている皆さん、どうか焦らず、恐れず、堂々とその一歩を踏み出してください。これから始まる新しい生活で実りがなく感じたり、たとえば壁にぶつかり嵐に遭遇したと感じたとしても、自分を信じて進んでください。冬の時代があつてこそ、はじめてどんぐりは芽吹くのですから。

困難を乗り越え忘れたころに芽吹きは訪れ、そしてそれはいつしか大樹に育つことでしょう。

世界のどこかで誇らしげに枝を張り活躍している皆さんの姿を思い描きつつ、門出を祝します。



涙が無ければ 魂には虹は見えない

網 天真 書

卒業おめでとうございます 1組担任 関谷 勢津子



三年間いろんなことがありました。19期生の皆さんは大丈夫かな？という不安をよい意味で何度も裏切り、予想以上の結果を出してくれました。1年生での「自主規制」についての話し合いの活発さ。2年生ではスクーリング本番、本当に無事に戻ってくるのかという不安をよそに、これまでにない楽しく素晴らしい修学旅行を体験させてくれました。3年生での「今高生の主張」では始めは全くペンの動かない人もいましたが、クラス発表での真剣さ、学年発表では感動さえ覚えさせてくれました。「課題研究」も始めはかなり心配したものの発表当日はたいしたものでした。「立場は人をつくる」と言われますが、皆さんは色々な経験の中で成長してきました。卒業後、色々な場面や立場に遭遇することでしょう。成し遂げることができるか不安に思うこともあるでしょうが、逃げずに自分なりに精一杯取り組んで一步一步成長していくことを願っています。皆さんはその力をきっと持っているはずで、私にとって教職生活最後の三年間は皆さんのお陰で充実したものになりました。皆さんの活躍を期待しています。

学びと縁を大切に 3組担任 丸山 毅



ご卒業、おめでとうございます。記念すべき日に2つの言葉を贈ります。
1つ目は、「本当の勉強はこれから」です。今までは、ある決まった範囲の中の勉強をすることがメインでした。これからは、何でも自ら積極的に学べば学ぶほど、それだけ自分の世界も広がります。
2つ目は、「出会いを大切に」です。人との出会い、本との出会い、素敵な言葉や景色との出会い、成功や失敗との出会いなど、これから遭遇する人や物に広く興味を持ち続けられ、自分の未来が変わります。
4月から迎える新たな環境の中でも、「学び続ける姿勢」と「出会いを大切に作る姿勢」を持てば、失敗でさえも挑戦した証しという良い出会いに変わります。
「小人（つまらない人の意味）は、縁に会って縁に気付かず。中人（普通の人）は、縁に気付いて縁を活かす。大人（立派な人）は、袖振り合った縁をも活かす。」
(近江商人の言葉)
学びと縁を大切に、さらに活躍の場を広げていって下さい。

さらに彼方へ走り続けよ！ 第3年学年主任 小山 秀樹



みなさん、卒業おめでとうございます！本当にあっという間の三年間でした。学習やクラブ活動、学校行事を通じてみなさんは大きく成長したと感ずります。学年として、授業を通じて、私達は三年間みなさんを応援してきました。みなさんは今、三年間の今宮高校の生活をいくつかのリアルな場面として思い出すことができるはずで、おそらくその場面は、みなさんをよりよく変えてきた、成長の場面です。それは、今後も記憶し続けられ、温め続けられる場面となることでしょう。十代後半の経験は、その人の一生にとってかけがえのないものです。みなさんはその大切な時代を見事に生き続けた人として、今日のこの日を迎えています。区切りであるこの卒業の日を誇りとともに記憶し、今後さらに走り続けてほしいと思います。みなさんが飛び出す世界は、そうなまやさしいものではありません。それでも、みなさんの持つ資質は充分高く、しなやかです。努力することも知っています。大丈夫です。
保護者の皆様には、日頃から本校の教育に対して深いご理解、温かいご協力をいただきました。卒業に際して改めてお礼申し上げます。三年間本当にありがとうございました。
「勉強にし過ぎなし！」「行けたら行った者なし！」「源氏に読み過ぎなし！」授業でも、部活動でも、みなさんと過ごした三年は、私自身にとってかけがえのないものでした。みなさんにエールを送りたいと思います。彼方まで走り続けよ！今宮19期！

第19期生卒業おめでとう



創立110周年を記念して

困難に負けず、強く羽ばたけ！ 2組担任 青木 徳子



今宮高校での三年間、楽しいことだけではなかったと思います。限られた時間の中で「勉強」「行事」「部活」に追いつめられた気持ちになった人も多かったのではないのでしょうか。そんな時、あなた方は、やるべきことを分け合い、励まし合って乗り越えて来ましたね。本当に立派でした。楽しいばかりの人生なんてありはしない、困難を克服した時にこそ「本当の喜び」があるのだと私は思っています。
「今高生の主張」でも、書き始めた時は辛かったのに、書き切った時にもっと書きたいと思ったという感想が多くありました。苦しさの中で「自己を見つめる力」「書く力」を身につけてくれたのだとしたら、こんなに嬉しいことはありません。
「不可能の反対は可能ではない。挑戦だ。」黒人初の大リーガー、ジャッキー・ロビンソンの言葉だと言われています。将来、いろんな場面で選択を迫られることでしょう。そんな時、逃げるのではなく、誇りを持って「挑戦」の方を選んで欲しいと思っています。卒業、おめでとう！

山よりでっかい猪(イノシシ)は出ん (池田勇人語録) 5組担任 中澤 晋二



第58代首相池田勇人は、大蔵省入省5年目、激痛をともなう治療不可能の難病を発症し、大蔵省も退職してどん底の闘病生活を送る。看病疲れで若い妻も病死したが、闘病5年で奇跡的に回復した。回復後たまたま連絡した先輩の世話で、大蔵省に復帰できたが、出世は絶望的であった。地方の税務署で税金徴収に精を出す中、敗戦を迎える。戦後、GHQの公職追放で、上司・先輩が追放される中、大蔵次官・大蔵大臣に抜擢され、食糧難・インフレ・不況による失業者急増など困難な状況を克服し、経済復興に大きく貢献した。
そんな彼が、自分の部下を励ます口癖が、上記の言葉である。どんなに困難に見える場面でも、逃げずに一生懸命・誠心誠意努力すれば、何とかなる、という苦勞人池田の言葉に、私は感銘を受けました。卒業する皆さんへ、はなむけの言葉とします。歴史の勉強には先人の知恵が一杯詰まっています。卒業後も先人の知恵を学びながら、困難な局面をぜひ突破して下さい。応援してます。

新しい伝統を築く 第2年学年主任 畠井 浩



19期生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。20期生(2年生)を代表して、お祝いのメッセージを贈らせていただきます。
20期生にとって、皆さんは一つ上の先輩になります。20期生は部活動の場でも学校行事の場でも、皆さんの背中を見て、「高校生はかくあるべし」ということを学んだと思います。特に皆さんの行動力は、ぜひ20期生に見習ってほしいと思っています。
そんなふうに、皆さんが今宮高校で学んだことや活動したことが後輩たちに受け継がれていくのだと思います。それこそが学校の伝統ではないでしょうか。今宮高校の新たな伝統を築いたのだという自信を持って、頑張ってください。
一人の教員としては、2年生の考古学入門と3年生の歴史探求を担当しました。人数は少なかったのですが、どの科目も楽しく授業をさせてもらいました。卒業しても、時々、学校のことや授業のことを思い出してもらえたら幸いです。

いまみや1・2わっしょい 4組担任 西口 直樹



19期生の皆さん、卒業おめでとうございます。
2年生のタイミングで、担任になったときの「誰？あの先生？」という視線を感じたことを、思い出します。私事です、今宮の卒業生として、はじめて後輩の担任になるという大変思い入れのある学年でした。つい、「自分の時の今宮は・・・」と過去の話をしてしまうことが、たくさんありました。
しかし、サグシード(私の時は4ステップ)に苦戦する姿をみて、自らの高校生を思い出し、懐かしくもあり、当時と今が変わらないことに嬉しくもありました。
世の中が急速に変化する中で、「変わらなければならないこと」「変わらなくてもいいこと」を意識して、次のステージのスタートを切ってはでしょうか。
今宮の学校生活で得た経験を武器に、これからも「磨け知性、輝け個性」で頑張っていこう、自彊会もよろしくね。「い～ま～み～や～、1・2、わっしょい!!」

ありがとう!! 6組担任 高口 清人



三年前の合格者説明会の時の期待に満ちた、だけどちょっと緊張し不安そうだったみんなの顔が甦ってくる・・・
1年生の新しいクラス。
遠足でのパーベキュー、産社での調べ学習・発表。最初の定期検査でコケた(笑)人もいた。体育大会・文化祭を経験して今宮高校の生活にも慣れていったね。
クラス委員を決める時にすぐに名前を書かず、どうしたのかな？と思ってたら最後に残ったところに入って来てびっくりした。
ドッジボール大会ではチャンスなのに相手を攻撃せず、アッ！？と見てるとまだ投げているクラスマートにボールをパスしたりするから驚いてしまった。こんな事は初めてだったので君たちの優しさに触れて幸せな気分になった。
2年生になって行った北海道は広々としていて楽しかったね。網走刑務所の土産物屋でふざけてかけたオモチャの手錠が外れなくて焦ったのも、ついこの間の事のように想い出す・・・
3年生になり毎日7時間の受験勉強をして涙と緊迫の日々が続いたけど、ようやく迎えた今日・・・
お疲れ様！そして卒業おめでとう!!

自己の中心に向かう旅 第1学年主任 肥下 彰男



19期生の皆さん、卒業おめでとうございます。2年生の時に、数学Ⅱや数学Ⅲの授業で「わいわい」盛り上がりながら一緒に学習したことを思い出すと、いまでも「にんまり」とします。積極的に授業に参加する皆さんは、まさに21世紀型の学びの主体であるアクティブ・ラーナーでした。3年生になってから、授業は1講座しか担当していなかったのですが、ときどき皆さんの様子を知りたくて、学年行事をひっそりと覗きに行きました。中でも印象に残っているのは「今高生の主張」です。自分のこれから可能性を考えると、私を私たらしめているルーツや環境を見つめることは、自己の中心に向かう旅に出ることだと思います。皆さんの主張を聴いて、その旅でいろんな人に出会い、そしてそのことを学年全体で共有していることに感銘を受けました。皆さんの背中を見てきた21期生も皆さんを道しるべとしてきっと旅立ってくれると思っています。ありがとう。